

ナラ枯れ防除の殺菌剤樹幹注入コストを 1/2 に

- 施用量が従来の 1/400 の殺菌剤微量注入法で、高い枯死予防効果
- 資材の運搬労力が大幅に低減、微量注入器で作業時間も 1/2 以下に
- 全作業コストを 1/2 以下に削減

概要

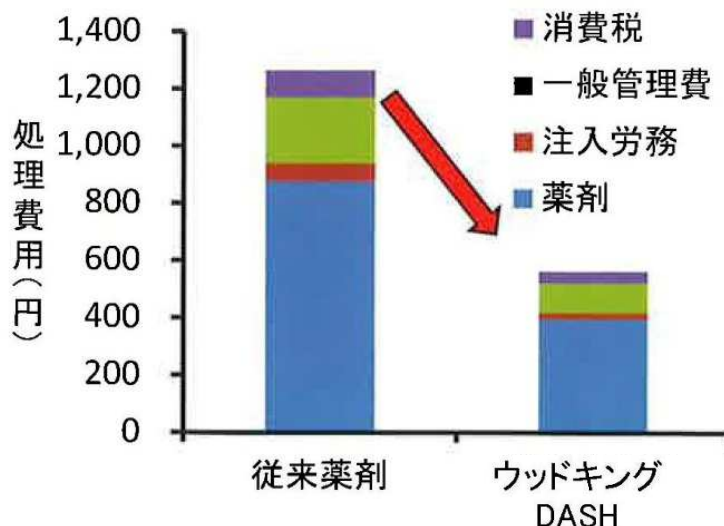
コナラやミズナラなどの枯死を招くナラ枯れ病被害を予防する方法として、殺菌剤樹幹注入法が効果的な手法です。しかし、従来のボトル型殺菌剤では施用量が多く、施用後のボトル回収にも手間が必要でした。

そこで、有効成分を高濃度とすることで施用量が従来の 1/400 で、かつ従来薬剤と同効果を得た新たな薬剤「ウッドキング DASH」を薬剤メーカーと開発しました。施用量が少ないことにより運搬労力が大幅に低減し、また、専用の微量注入器により薬剤の連続注入を可能としたことで、注入孔 1 孔あたりの処理時間を現行の 1/2 以下に短縮しました。さらに、従来薬剤では必要であったボトル回収の手間をなくしました。

これにより、全作業コストが従来の 1/2 以下となり、より多くの立木への容易な処理が可能となりました。



注入孔 100 個の処理に必要な薬剤量の比較
左：従来薬剤 右：ウッドキング DASH



注入孔 1 孔あたりの処理費用

詳しくは、

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/chukiseika/3rd-chuukiseika26.html>

<http://www.pref.nagano.lg.jp/ringyosogo/seika/gijyutsu/documents/jyouhou149.pdf>

担当者 育林部 柳澤賢一